

～8分類中7分類で全国平均を上回る～

小学校は国語B・算数Bともに向上，中学校は本年度も好結果を維持

1 調査実施校数及び児童生徒数（悉皆調査），調査内容

(1) 福岡市全体

- 小学校第6学年，特別支援学校小学部第6学年 143校 約12,170人
- 中学校第3学年，特別支援学校中学部第3学年 70校 約11,670人
- 合計 約23,790人
- 特別支援学校で通常カリキュラムを履修している児童生徒は，状況に応じて実施。

(2) 調査内容

- 小学校は，国語A，国語B，算数A，算数Bの4分類
- 中学校は，国語A，国語B，数学A，数学Bの4分類
- ※ Aは主として「知識」に関する内容，Bは「活用」に関する内容



2 教科に関する調査の結果

(1) 小学校の調査結果（平均正答率）

	国語A	国語B	算数A	算数B
福岡市(市立)	72.8	58.8	77.8	48.5
福岡県(公立)	71.7	57.8	77.8	47.3
全国(公立)	72.9	57.8	77.6	47.2
県平均正答率との差	+1.1	+1.0	+0.0	+1.2
全国平均正答率との差	-0.1	+1.0 ↑	+0.2 ↑	+1.3 ↑

- 国語B，算数A，算数Bの3分類で全国平均を上回る。
- 国語Aは，全国平均をわずかに下回る。



(2) 中学校の調査結果（平均正答率）

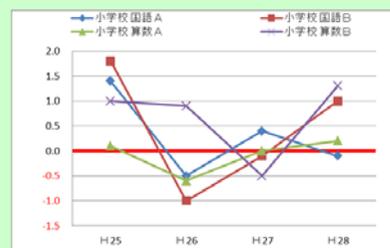
	国語A	国語B	数学A	数学B
福岡市(市立)	76.1	68.2	62.5	44.7
福岡県(公立)	74.8	65.8	60.3	42.4
全国(公立)	75.6	66.5	62.2	44.1
県平均正答率との差	+1.3	+2.4	+2.2	+2.3
全国平均正答率との差	+0.5 ↑	+1.7 ↑	+0.3 ↑	+0.6 ↑

- 国語A，国語B，数学A，数学Bの4分類すべてで，全国平均を上回る。

(3) 過去4年間の推移

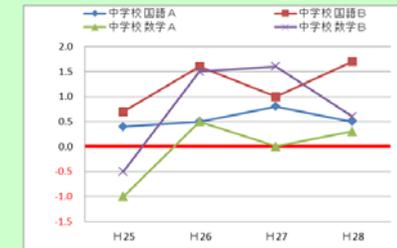
※ 全国平均正答率を0として，福岡市の平均正答率と比較

◆ 小学校



平成26年度と比較して，回復し，向上傾向に！

◆ 中学校



全国平均正答率をおおむね上回り，好結果を維持！

3 向上につながる学校の取組例

授業の中で，自分の考えを書いたり，友だちと話し合ったりするなど，思考力や表現力を高める活動に取り組んだ。

授業の最後に，分かったことを書いたり，小テストをしたりするなど，学習内容を振り返る活動に取り組んだ。

放課後や夏休みの時間を使って，学習したことを定着させるための補充学習に取り組んだ。

4 取組の方向性

(1) 各学校での取組

◆ 児童生徒一人ひとりの課題に応じたきめ細かな指導の徹底

- 教育課程の見直しにより生み出した時間をはじめとして，年間を通して，計画的に，補充的な学習や発展的な学習を実施する。
- 一人ひとりの学習状況に応じた指導を複数の教員で取り組む。

(2) 教育委員会の取組

◆ 学校への指導・助言の充実

- 各学校の学力の状況を分析し，指導主事が学校を訪問して，課題に応じた適切な指導・助言を行う。

◆ 市内の全学校が参加する「学力向上のための研究大会」（新規）の開催

- 各学校の効果的な取組を教育委員会が中心となって発信し，全ての学校で共有する。

